

# 平成20年度重点プロジェクト事業（海外派遣研究員旅費）報告

## 国際ヘルスプロモーション協会（IIHP）2008年会議に参加して

山崎利夫\*

はじめに

IIHP (International Institute for Health Promotion) (国際健康づくり協会) の2008年会議に参加して発表を行うとともに、会場となった米国の首都ワシントン DC に位置するアメリカン大学の National Center for Health/Fitness を訪問した。

IIHP はアメリカン大学の National Center for Health/Fitness が母体となって1996年に設立された。この機関は世界中の健康づくりに従事する人々の英知を結集させ、健康づくりに関する政策、プログラム、サービスそれに調査研究を推進していくグローバルセンターを目指している。世界各国の健康づくりに関連した大学、機関、それに研究所を結んだ連合体を結成し、国際的な協働関係の確立に向けてグローバルに活動している。

今回の会議は、IIHP の本部がある American 大学での開催だった。11月7日から9日までの3日間、世界12カ国（アメリカ、ブラジル、チリ、イギリス、ドイツ、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、チリ、インド、中国、日本）から29名が参加した。アジアからの参加は中国から3人とインドから3人、それに日本から私1人と少なかった。

参加者は自国の健康づくりに関する研究や事例を発表した。筆者の発表テーマは“Current Status of Lifestyle-Related Disease and its Prevention in Japan”（日本における生活習慣病の現状とその予防策）だった、健康づくりマネジメントに関する世界共通の基本カリキュラムづくり及び IIHP の支部設立に向けて活発にアイデア出しと意見交換を行った。

会議の冒頭では、大統領体力スポーツ審議会の事務局長であるメリサ・ジョンソン氏が「米国における運動のガイドライン」というテーマで基調講演を行った。年々肥満者の割合が高まっている米国の現状とそれに対する関係各方面を動員しての国を挙げての予防策の立案とその実行計画についての発表であった。今や、米国においては肥満や過体重は深刻な社会問題にまでなっている。我が国にとっても他人事ではないことを改めて認識した次第である。

IIHP は2009年度の国際会議開催は計画していないが、2010年夏に、江沢民元首席を輩出したことで有名な中国上海交通大学を会場にアジア初の国際会議の開催が決定されている。今度はアジアでの開催なので、日本を含めて東南アジアから多数の参加者が見込まれる。中国に続いて日本での国際会議の実現に向けて、関係各位に働きかけていきたい。



\*鹿屋体育大学スポーツライフスタイル・マネジメント系